

グループ名 ・代表者名	六ヶ所みらい映画プロジェクト 代表 島田恵	助成金額	30 万円
連絡先など	映画専用窓口 070-6523-8559 042-727-8559 映画ホームページ <a href="http://www.rokkashomirai.com/">http://www.rokkashomirai.com/</a>		
助成のテーマ	福島原発事故後の福島県の人々の生活環境の変化と意識調査及び六ヶ所村と周辺住民の意識調査。これらを映画化する。		

#### 【取り組みの概要】（調査研究・研修のねらい・手法・成果など）

- ・福島原発事故後の福島県の人々の生活や気持ち、原子力に対する意識の変化等を調査するため、強制的避難区域からの避難者、自主避難者、福島在住者に取材、聞き取り、撮影、記録をした。
- ・補償問題、経済的負担、将来設計への不安、高線量地域での子供たちの健康への不安、家族やコミュニティーの分断などによる精神的及び経済的苦痛は相当なものがある。
- ・核燃料サイクル基地のある六ヶ所村民の核燃への不安は一層増したものの、すでに地域経済が核燃に組み込まれてしまっている現状で、不安や反対の声を表面化できないという現実がある。
- ・また財政は多大な交付金や固定資産税に依存しており、これほどの原発事故を経験しながらも原子力の構造から脱却できない実態が浮かび上がった。 ・これらの記録は映画化し、今後全国で公開する予定である。

#### 【実施の経過】（取り組みの具体的な経過：主要な出来事のみ）

2011 年 4 月：飯館村、南相馬市、川内村、いわき市で住民聞き取り  
 5 月：六ヶ所村と周辺地域住民への聞き取り  
 8 月：郡山市から避難している母子聞き取り  
 10 月：大熊町へ一時帰宅者と同行し取材、聞き取り  
 2012年3月：六ヶ所村むつ小川原エネルギー特別委員会取材 村議聞き取り  
 7 月：六ヶ所村泊地区漁業者聞き取り 他多数聞き取り調査

問題となっている場所の地図あるいは写真など（あれば）

#### 【今後の展望など】

- ・現在、映画の編集作業中。2013年早々に完成、2013年2月頃完成上映会を予定。以後、各地で上映予定。
- ・原発事故による影響は今後顕在化し、住民の意識も一層変化せざるを得ないだろうことから、福島での取材、研究、調査、撮影、公開を継続させていきたい。
- ・同時に、今後核のゴミ問題の重要性はさらに増すと考えられることから、六ヶ所村および下北半島、青森県での取材、研究、調査、撮影、公開も今後とも継続させていきたい。

会計報告書の概要（金額単位：円）			充当した資金の内訳		
支出費目	内 訳	支出金額	高木基金の 助成金を充当	他の助成金 等を充当	自己資金
旅費	福島及び青森への交通費及び宿泊代	2,159,830			2,159,830
資料費					
機材・備品費	ビデオカメラ購入費 編集機材購入費	905,362	300,000		605,362
会議費		184,870			184,870
印刷費		570,269			570,269
協力者謝礼など		37,171			37,171
人件費					
外部委託費		279,255			279,255
その他		126,951			126,951
合 計		4,263,708	300,000		3,963,708

#### 参考文献（ウェブサイトや書籍、成果物など）

- ・写真集「六ヶ所村 核燃基地のある村と人々」島田恵著 高文研



映画タイトル  
「福島 六ヶ所 未来への伝言」



郡山市荒池公園 福島では放射線が高いため、学校、公園、通学路などを除染している。

郡山市の公園での除染作業。  
福島県では、放射線が高いため、公園、学校、通学路などを除染している。



郡山市在住の伊藤智恵子さん。  
高い放射線を避けて、夏休みに母子で長野に保養に来た。(2011年8月)



伊藤さんの長女咲良ちゃんの2学期が始まって、母子はお父さんのいる郡山に帰ってきた。(2011年8月)



福島県檜葉町国道6号線。  
この先福島第1原発から20キロ圏内は立ち入り制限区域だ。(2011年5月)



立ち入り制限区域の大熊町の商店街。  
ゴーストタウンと化していた。  
(2011年9月)





福島第1原発正門前近くでの放射線測定。最大測定値毎時30マイクロシーベルトがすぐに振り切れた。(2011年10月)



一家で大熊町に住んでいた田辺武志さんの一時帰宅。家は新築してわずか1年半だった。(2012年2月)



郡山市逢瀬町の14代目農家中村和夫さん。「少しでも放射能を減らしたい」と除染を工夫しながらの田植え。(2012年5月)



青森県六ヶ所村核燃料サイクル基地の再処理工場と高レベル放射性廃棄物貯蔵施設。(2011年8月)



核燃に反対し26年間欠かさずにデモを続けてきた青森県弘前市の「放射能から子どもを守る母親の会」(2011年6月)



六ヶ所村議会むつ小川原エネルギー対策特別委員会。説明に訪れた資源エネルギー庁の役人に原子力継続を訴える。(2012年3月)



イギリスからの返還高レベル放射性廃棄物の六ヶ所村への搬入。(2011年9月)



六ヶ所村泊の丹波さん。経営する晴和工業は原燃や村から仕事を請け負う。「核燃がなくなったら困る」と話す。(2012年4月)



六ヶ所村泊の漁業滝口さん一家。6月青森県太平洋沖のマダラから福島原発事故由来と思われる基準値以上のセシウムが検出された。獲ったマダラを海に捨てる。(2012年7月)



六ヶ所村北隣にある東北電力東通原発  
(2012年5月)



下北半島むつ市に建設中の東京電力使用済み核燃料中間貯蔵施設(2011年8月)



下北半島最先端の大間町に建設中の大間原発(2011年8月)